2-2. 効率よ〈作図を行うための設定(一般-1)

使用環境を設定:一般(1)

ここでは環境設定「一般(1)」を見ていきます。

設定の意味がよく分からない場合はとりあえずこの画面のように設定してみてください。

注1. 一		5.	
₩ 焘題 - jw_wia			000
ファイル(E) [編集(E)]	表示(V) [作図(D)] 設定(S) [その地(A)] ヘルフ(H)		
□矩形 □ 🛄	Vin	•	「法値 □ <
→般(1) →般(2) 色·画面 線種 文字 AUTO KEY DXF·SXF·JWC			
	一般設定(1) 外部エディタ ●¥WIND	DWS¥NOTEPAD.EXE 参照	
	画面サイズ設定 画面横寸法 (mm)	246 画面横ドット数 1280	
 文字	オートセーフ 時間(1~1000分) 60 パック	アップファイル数 1 Undoの回数 100	保存
寸法 1 _	□ クロックメニューを使用しない □ 左	□ 右知ックメニュー開始のAM/PMは前操作状態 クロックメニューに移行するトラッグ量(20~200) □ 25	印刷
2線	▲ 複線のとき、数値入力接の[Enter]キーで連続複組	11:113 [1:11] [切取
中心線	ファイル読込項目 ▼ 線色要素・線種パットン・点当	- 径 ▼ 描画・印刷状態 ▼ 文字基準点ずれ	35°~
連線	▶ ▼ プリンタ出力イメージの背景を白にする(背景色が	伯の場合は無効)	貼付
AUTO		長取得にする	線属性
3	> 「 力数値の文字を大きくする	ステータスバーの文字を大きくする6.	
範囲	▼ 又子へ刀コンホホックスの又子釼を2ハイト単位で 文字表示と枠表示の切り替えドット数	· ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 、 小 表示倍率 「 」	
複線	▼ マウスの左または右ボタンを押して1秒待つとズー	· 厶操作(L移動)(R縮小·拡大)	08
<u>]-+-</u>	□ 線コマンドでマウスを左右または上下に4回移動す □ クロスライ・ホーン川を使う	お日本中国はなどのないのである。	19
伸縮 4	▶ ▼ 表示のみレイヤも属性取得		<u>2</u> A
面取			<u>38</u>
消去	グリット抽画順 ▼ 24200 日本順 ● 日本順 ● 日本順 ● 日本 ● 日本 ● 日本 ● 日本 ● 日		
複写			
移動		0 112 0 7 H97799F 0.0	ØĐ
戻る OK キャンセル 適用(A) ヘルプ All			
ヘルプを表示するに	は [F1] を押してください。	A-1 S=1/50 [0-0] ∠1	0 × 0.16 //
注1「一般(1),のタブが一来手前に手テされているのをご確認(ださい)			
ト記項目へチェックを入れてください。			
マワス石クリックは ます	こより読み取った端点等に丸印が仮表示され	ほかの方が作成された図面(.jww)内容を再発	現できます。
\$ 9 °			· 🕅 +>)
2. 「プリンタ出力	ノイメージの背景を白にする」	画面表示・印刷結果となる場合がありま	はしない
印刷時に用紙的	色が白(印刷イメージと近い)で表示されます。		
		 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
3.「入力数値の)文字を大き〈する」	1-3(2)で山てさに用紙件が衣示されより。	
数値を入力する	5部分の数字が大き〈表示されます。	7 「ステータスパーの文字を大きくする。	
		1-5(1)以降で紹介している「ステータスバー」	羽分の文字が
4. ' 表示のみレ		大き〈表示されます。	
- 表示のみ(編集	: 个 可) の テー タ も 属 性 取 得 か 可 能 に な り ま す。 「		

属性・・・線や文字の要素(線色・線種・書き込んであるレイヤ・レイヤグループ等)

P